

執筆のしおり

広報 SENAC は、広く利用者の便を図るために、下記のとおり掲載いたします。

1. お寄せいただきたい投稿内容

次のような内容の投稿のうち、当センターで適当と判定したものを掲載します。その際に原稿の修正をお願いすることもあります。

 - a) 学術あるいは技術に関する論説または意見
 - b) センターの業務、運営方針に対する要望または意見
 - c) その他利用者一般の方々に関心をもたれる事項に関する論説または意見
 - d) 計算機を利用して行った研究論文の概要
 - e) プログラムの実例と解説
2. 執筆にあたってご注意いただく事項
 - a) 原稿は横書きです。
 - b) 術語以外は、「常用漢字」を用い、かなは「現代かなづかい」を用いるものとします。
 - c) 学術あるいは技術に関する原稿の場合は 200 字程度のアブストラクトをつけてください。
3. 原稿の提出方法
 - a) サイズは以下を参照ください。
 - ・原稿 (B5) の印字部分は縦 21cm、横 14cm
 - ・文字の標準は明朝体 10~10.5 ポイント
 - ・標準の文字数 (37 文字 43 行)
 その他詳細は、以下を参照ください。
<http://www.cc.tohoku.ac.jp/refer/sipitu.html>
 *Vol. 42, No. 1 (平成 21 年 1 月発行) より SENAC は A4 判になります (詳細は次号「執筆のしおり」参照)。
 - b) ファイルは Word 等で CD あるいはメールに添付して提出ください。
4. その他
 - a) 投稿原稿は原則として返却しません。
 - b) 執筆者には、希望があれば執筆号の PDF ファイルと別刷 50 部を進呈します。50 部を超える分については、著者の実費負担とします。別刷の希望部数等は投稿の際に申し出てください。
 - c) 初回の校正は、執筆者が行って、誤植の防止をはかるものとします。
 - d) 原稿の送付先は次のとおりです。
 郵送：〒980-8578
 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
 東北大学情報部情報基盤課庶務係
 Tel 022-795-3406、3407
 Fax 022-795-6099
 e-mail uketuke@isc.tohoku.ac.jp

編集後記

今号より、SENAC の編集部会のメンバーとして、お手伝いさせていただくことになりました。有益な情報を皆様に発信・提供できるように、フレッシュな気持ちで取り組んで行く所存です。

さて、今号の SENAC は前号に引き続き、「SX-9 特集号 part2」の特別バージョンです。当センターが有する最新鋭のスーパーコンピュータ SX-9 の高い能力とそれを支える要素技術を皆さんにお伝えできる内容だと思います。4 月より運用されている当センターの新システムは、皆様の研究活動をこれまで以上に加速できる潜在能力を秘めております。是非、ご活用いただければと存じます。(R. E)

本センターが 4 月にサイバーサイエンスセンターに改編されたと同時に着任しました。本誌の編集に携わるのは、今号が実質的に初めてです。

今年のセンターは、改編、スーパーコンピュータの SX-9 への更新、そして本誌の名前の由来となっている SENAC-1 完成から数えて 50 年目の節目です。全国共同利用施設として、本センターがより一層利用者の皆様のお役に立てるよう、事務職員として本誌の編集・発行を始めとする情報提供、サービスの充実に努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。(I. Y)

SENAC 編集部会

小林広明	曾根秀昭	水木敬明
後藤英昭	江川隆輔	伊藤英一
加藤 昇	山内 斎	斉藤くみ子

平成 20 年 7 月発行

編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578

印刷 大成印刷株式会社